

第10回常任理事会会議録

- 日 時 平成19年2月9日（金）午後3時～同4時55分
- 場 所 日本歯科医師会 10階会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、
佐藤田鶴子、土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、
赤川安正、栗原英見、荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会
<会 頭> 大塚・兵衛
<準備委員長> 伊藤公一
<事務局長> 松村英雄
- 欠席者 <常任理事> 宮崎 隆

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

引き続き、大塚会頭より、第21回日本歯科医学会総会の準備に関わる進捗状況報告を含めた挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

□一般会務報告（平成19年1月15日～2月8日）

□第9回常任理事会会議録（平成19年1月15日開催）

□第4回理事会会議録（平成19年1月15日開催）

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、標記総会準備の進捗状況について、以下のとおり報告がなされた。

□メインテーマ：(和文) めざせ！ 健・口・美

—未来に向けた歯科医療—

(英文) Set yourself the goal of oral health!

Dental practice : Toward the future

□シンボルマーク：決定した(別紙参照)。

□参加資格：前回と同様とし、新たに新設される認定分科会会員も無料とする。なお、研修歯科医は500円減額の3,000円とする。

□開 会 式：11月14日(金) 15時または16時頃開催予定

□会 頭 招 宴：11月14日(金) 18時30分または19時頃開催予定

(会場は、ロイヤルパークホテルに決定)

□講師招聘条件：前回と同様とし、外国人講師については、基本滞在期間を3泊4日、謝金10万円、会期中のエキストラ業務は認めない。

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

□学会会計(平成18年4月1日～12月31日)

□第21回日本歯科医学会学術大会会計(平成18年4月1日～12月31日)

4) 会長報告

なし。

5) 日本歯科医学会学術用語集の出版について

住友総務理事から、標記用語集の出版については、著作権所有者を本学会とし、出版者を医歯薬出版株式会社とする報告がなされた。今後の進め方は、同出版社の社内企画会議に諮り、その後、本学会と同出版社担当者との間で、2月末を目途に編集会議を開催し、年内の学術用語集出版を目指し作業を進める。なお、出版作業に伴う本学会担当責任者には、相馬常任理事が

指名され、また補佐役として、住友総務理事が指名され、全会了承した。さらに、今回の同用語集の全面的見直し、学術用語の整理・統合に尽力された、前歯科学術用語委員会委員長である道 健一先生にも編集会議に参加いただくことで了承した。

6) バイタルサインセミナーの企画書について

住友総務理事から、標記企画書について資料に基づき報告がなされた。

7) 日本歯科医師会主催・ワークショップ参加者について

住友総務理事から、本学会推薦の標記参加者について資料に基づき報告がなされた。

□開催日：2月18日（日）10：00～17：00

□参加者：日本障害者歯科学会 植松 宏（東京医科歯科大学教授）
日本老年歯科医学会 菅 武雄（鶴見大学歯学部）

8) 日本歯科医学会事務局職員人事について

住友総務理事から、2月1日付発令の日本歯科医師会職員（日本歯科医学会事務局）の人事異動が、資料に基づき報告された。

□課長補佐 土屋時雄（日本歯科医学会事務局係長）
総務部広報課へ異動

□係 長 中泉由美（総務部厚生会員課係員）
事業部日本歯科医学会事務局へ異動

9) その他

- ・ 江里口常任理事から、「日本歯科医学会規則の一部改正」が議事として、日歯・予算決算特別委員会です承された旨の報告がなされた。
- ・ 赤川常任理事から、英文雑誌編集委員会のインパクトファクター取得に向けた審議（ミニレビューおよびレビューを主流とした編成）の進捗状況報告がなされた。さらに、日本補綴歯科学会の「広告が可能な歯科医師の専門性に関する資格名等について」の懸案事項について、日歯・大久保会長および内山専務理事と面談を行い、今後、両者で問題の解決に向け、協議の場を設けることで合意した旨の報告がなされた。

- ・ 恵比須常任理事から、日本歯科保存学会の「広告が可能な歯科医師の専門性に関する資格名等について」の懸案事項について、日歯・大久保会長および内山専務理事と面談を行い、今後、両者で問題の解決に向け、協議の場を設けることで合意した旨の報告がなされた。

- 協議事項の検討に先立ち、江藤会長から、報告と協議の扱いが分かり難いと
の役員からの指摘を受け、次回以降は協議する事項を明確に示した日程に改めるとの発言がなされた。

4. 協 議

I. 重点計画の推進

1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

(1) 歯科医療協議会の設置

江藤会長から、標記協議会の設置について諮られ、継続審議とした。

○ 歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

○ 「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

○ 歯科診療報酬の評価・再評価の希望書への対応

黒崎副会長から、標記希望書への対応の一環として、2月14日（水）に開催される中医協の外部組織「診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会」の審議結果（希望書式の確定）を踏まえ、2月20日（火）に専門分科会（対応 17 分科会）向けに「次期診療報酬改定における歯科医療技術評価希望に関わる説明会」を開催する内容の報告がなされた。また、これに対応する役員については、次のとおり決定した。

（出席役員）

江藤一洋、黒崎紀正、井出吉信、住友雅人、佐藤田鶴子、荒木孝二

引き続き、江藤会長から標記に関連し、禁煙指導を歯科診療に入れるためにも、歯周病学会と連携を取っている福岡歯科大学教授の埴岡 隆先生を、歯科医療現場で問題となっている金属アレルギーに関連して専門的に研究している東京歯科大学教授の井上 孝先生を厚労省とのヒアリングの場に推薦したい旨の提案がなされた。

協議の結果、「禁煙指導」については、歯周病学会と協議した上で、同希望書に盛り込むこととし、「金属アレルギー」についても、補綴歯科学会と協議の上、同様の措置を取ることとした。

○後期高齢者歯科医療への対応

江藤会長から、標記歯科医療への対応については、日歯に設置された「次期診療報酬改定検討チーム（仮称）」で行っていくことになる。本学会からは黒崎副会長と住友総務理事がメンバーとして参画している旨の報告がなされた。

(2) 歯科診療ガイドラインの作成

佐藤常任理事から、日本歯科医学会認定の歯科診療ガイドライン「エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策」の発刊に向けた作業の進捗状況が資料を基に報告された。

これを受け、土屋常任理事から、国民が分かりやすいタイトルとされるよう要望があり、本件の決定を佐藤常任理事に一任とした。

2) 歯科医療技術革新の推進

(1) 歯科医療機器産業ビジョンの作成

江藤会長から、標記ビジョンの作成に向け、歯科医療機器産業ビジョン作成協議会は4回開催し、同協議会ワーキンググループ会議を3回開催した報告が会議録を基になされた。今後さらにブラッシュアップし、3月を目途に厚労省へ提出することを確認。

(2) 歯科医療器材の開発改良における諸問題（承認・認可等）への対応

江藤会長から、標記については、今後具体的に検討に入る旨の報告がなされた。

(3) 医療ニーズの高い医療機器等に関する要望書の提出

黒崎副会長から、「標記要望書の提出」に関連し、1月16日及び22日に厚労省から照会事項があり、6つの専門分科会（7件）へ回答を求めた。1月25日付で厚労省医政局研究開発振興課／医療機器・情報室あてに回答した旨の説明報告がなされた。

(4) 歯科医療技術革新推進協議会の設置

江藤会長から、標記について、歯科医療機器産業ビジョンの作成並びに歯科医療器材の開発改良における諸問題（承認・認可等）への対応などの説明がなされた。協議の結果、本件については本学会単独、関連企業単独では諸問題を解決できないため、本学会、日歯、関連企業及び厚労省等で歯科医療技術革新推進協議会を設置し、諸問題に対応する必要があると継続審議とした。

3) 学会機構改革の推進

(1) 新規加入学会の促進

江藤会長から、日本歯科医学会認定分科会承認基準の制定をもって、その対応を図ったとの説明がなされた。

(2) 学術講演会と学術研究の見直し

- ①学術講演会の見直し
- ②学術研究（各研究費）の見直し
- ③公開シンポジウムの開催

江藤会長から、標記案件については、次回以降具体的に検討に入ることの説明がなされ、継続審議とした。

4) 認定医・専門医制度の確立

(1) 認定医・専門医制審議会の設置の検討

標記審議会の設置については、継続審議とした。

5) 国際交流の推進

(1) 基本的方向性

(2) 本学会と各国対応機関との交流推進

○日中歯科医学大会 2008（仮称）の開催について

江藤会長から、標記大会の開催については、先般北京において中華口腔医学会会長の王 興先生と意見交換を行ったとの報告がなされた。

同大会の開催概要は、次のとおり提案されたが、継続審議とした。

□開催日：2008年9月16日～18日（17日、18日）

□開催場所：中国・西安

注）同地区・同時期に開催される国際接着歯学会と連結したい。

(3) 元日本留学生（歯科関係）のネットワーク構築

(4) F D Iにおける日歯支援体制の構築

江藤会長から、標記2案件の具体的な対応は継続としたい旨の説明がなされた。

VIII. 事業計画の推進

1) 日本歯科総合研究機構、日本学術会議と国際歯科研究学会日本部会（JADR）との連携協力のあり方

江藤会長から、標記組織との連携のあり方について諮られ、今後の情報収集や相互の交流、役割分担を確認する必要性と連携強化が不可欠との観点から、慎重なる対応が求められるので継続審議とした。

2) ISO/TC106会議への取り組みについて

江藤会長から、標記会議への取り組みについて諮られ、現在の対応状況を把握した上で対処することとした。なお、人事に関わる案件については、会長一任とした。

3) 平成19年度日本歯科医学会諸会議の開催について

住友総務理事から、標記諸会議の開催について諮られ、原案どおり決定した。

4) 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業に対する協力について

住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、モデル事業に対

する協力内容を確認した。

5) 第3回研究班会議（厚労科研費）への派遣について

住友総務理事から、標記会議への派遣について諮られ、住友総務理事の派遣を承認した。

6) 世界口腔保健学術大会記念「第13回口腔保健シンポジウム」への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、後援の名義貸与を承認した。

7) 2007年「歯の健康シンポジウム」への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、後援の名義貸与を承認した。

8) 「平成19年度日本歯科医師会生涯研修セミナー」に対する協賛について

住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、協賛することを承認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。